

「近代日本」空間下の東アジア大衆演劇

日本の近代は明治時代の幕開け前後に始まるとされる。東京を実験場に実体化した「近代日本」の文化コードは、江戸文化の延長上にある東京文化のものではなかったため、「近代日本」空間下に組み込まれた東京、日本各地も含む東アジアの芸能は、「近代日本」の文化コードに合わせて自らを再加工し、変容せねばならなかった。本シンポジウムは各地の芸態の「近代日本」の文化コードとの折り合いの付け方に注目し、各々がもつ柔軟さ・強靭性などの質の違いと形成したローカライズド文化の関係性に注目する。

*本シンポジウムは、JSPS 科研費 JP26370115 の助成を受けた科研研究成果報告の一部である。

7土

<基調講演>

邱 坤良 (台北芸術大学教授)

「近代東アジア大衆演劇の視野と変動
—台湾、日本、中国の舞台と映画を中心に—

<発表>

簡 秀珍 (台北芸術大学副教授)

「両地を相照して見る
—初代松旭齋天勝一座の台湾及び大阪公演—

林 于竝 (台北芸術大学副教授)

「現代演劇における『大衆性』

濱口 久仁子 (立教大学兼任講師)

「日本の舞踊における性別超越の表現
—井上流京舞を中心に—

吉田 弥生 (フェリス女学院大学教授)

「芸どころ名古屋」における少女歌舞伎・少女歌劇

中野 正昭 (立教大学兼任講師)

「博多中洲地区の劇場と軽演劇興行」

徐 亜湘 (台北芸術大学教授)

「日本統治期における台湾京劇女優劇団研究
—桃園永樂社系統劇団を例として—

張 啓豊 (台北芸術大学副教授)

「男性/文人から女性/演者へ—廖瓊枝(りょうけいし)の
『王魁桂英に背く』に見る性別・民俗的思考と運用—

8日

<基調講演>

神山 彰 (明治大学教授)

「娯楽としての演劇とその変容」

<発表>

洪 栄林 (延世大学講師)

「韓国少女歌劇の誕生と変遷」

海 震 (中国戯曲学院教授)

「都市の中の女子演劇上演
—越劇音楽の上海における変遷—

板谷 徹 (沖縄県立芸術大学名誉教授)

「明治の沖縄芝居における女形と女踊り」

細井 尚子 (立教大学教授)

「東京文化コードとローカライズド文化
—沖縄芝居と宝塚歌劇を例に—



2017年 1月 7日 (土) 10:00-18:20 (受付 9:30)

8日 (日) 10:00-16:00 (受付 9:30)

立教大学 池袋キャンパス 11号館 A203 教室

入場無料・申込不要
中国語逐次通訳あり